

第 228 回 教育研究評議会議事録

I 日 時 令和 6 年 4 月 18 日 (木) 14:00~16:00

II 出席者 評議員 永田、加藤 (光)、重田、池田、氷見谷、加藤 (和)、平松、中内、本間、西尾、呑海、木村、秋山、新井、海後、栗原、黒田、遠藤、角替、山口、潘、山田、植田、藪野、河辺、武井、木塚、大原、山中、白山、牧本、初貝、鈴木、中田、野呂、藤井、田中、高橋、歳森、竹中、猿渡、大根田、坪内、高木、石橋、朴 (代理: 矢花)、柳沢 (裕)

III 議 題

[審 議]

- (1) 名誉教授の選考について----- [審議 1 機密性 3 資料]
- (2) 懲戒審査委員会委員 (令和 6 年度) の指名について----- [審議 2 資料]
- (3) 令和 6 年度学生の懲戒に関する調査委員会及び再審査委員会の委員の選出について----- 【回収資料】 [審議 3 席上配付資料]
- (4) 令和 6 年度学生表彰に関する学生表彰委員会委員について --- 【回収資料】 [審議 4 席上配付資料]
- (5) 研究公正委員会委員の推薦について----- [審議 5 資料]
- (6) 学長選考・監察会議委員の選出について----- [審議 6 資料]

[報 告]

- (1) 第 144 回経営協議会報告について----- [報告 1 資料]
- (2) 令和 6 年度組織評価のための活動報告書等の作成について----- [報告 2 資料]
- (3) 令和 6 年度大学教員業績評価の実施について----- [報告 3 資料]
- (4) 第 4 期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の再申請の審査結果について----- [報告 4 資料]
- (5) 令和 6 年度学内当初予算等について----- [報告 5 資料]
- (6) 令和 6 年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」における成果指標の実績値等について----- [報告 6 資料]
- (7) 2023 年度安全保障輸出管理監査の結果について----- [報告 7 資料]
- (8) 安全保障輸出管理に係る研修・調査等の充実・強化について----- [報告 8 資料]
- (9) 令和 5 年度 (1~3 月) ハラスメント苦情相談・コンプライアンス通報状況について----- [報告 9 資料]
- (10) 令和 6 年度学園祭「雙峰祭」学術認定企画の募集について (お願い) ----- [報告 10 資料]
- (11) 令和 6 年度第 19 回筑波大学朝永振一郎記念「科学の芽」賞の実施について----- [報告 11 資料]
- (12) 文部科学省機動調査 (令和 4 年度) に係るフォローアップ調査の結果について --- [報告 12 資料]
- (13) その他

IV 議 事

議事に先立ち、永田学長から、教育研究評議会の進行を加藤 (和) 総務人事・情報環境担当副学長に付託

する旨の提案があり、承認された。

〔審 議〕

- (1)～(2) 審議 1 機密性 3 資料及び審議 2 資料に基づく審議の結果、それぞれ原案通り承認された。
- (3) 審議 3 席上配付資料に基づく審議の結果、名簿備考欄の職名を一部修正の上、承認された。
- (4) 審議 4 席上配付資料に基づく審議の結果、名簿備考欄の職名を一部修正の上、承認された。
- (5) 審議 5 資料に基づく審議の結果、原案通り承認された。
- (6) 審議 6 資料に基づき、学長選考・監察会議の役割、構成、任期、選出方法等について説明があり、原案通り投票により選出することが確認され、引き続き投票が行われた。また、開票作業は本会議中に別室にて立ち合い人 2 名のもとで行い、開票結果については、本会議の最後に報告する旨説明があった。

〔報 告〕

- (1)～(5) 報告 1 資料～同 5 資料に基づき報告があった。
- (6) 報告 6 資料に基づき報告があった。

なお、評議員から、組織評価における対話において本指標の改善に向けた取り組みのヒアリングを行ってはどうかとの意見があり、西尾副学長から、検討する旨回答があった。また、西尾副学長から、組織評価のための活動報告書等の作成においても、本データを活用いただきたい旨発言があった。

加藤（和）副学長から、審議 6 の開票の結果、委員の選出に当たり決選投票が必要となった旨説明があり、決選投票が行われた。

- (7) 報告 7 資料に基づき報告があった。
- (8) 報告 8 資料に基づき報告があった。

なお、重田副学長から、同日の運営会議での指摘を踏まえ、学生等の対象者の詳細を再検討の上実施する旨説明があった。

- (9)～(11) 報告 9 資料～同 11 資料に基づき報告があった。
- (12) 報告 12 資料に基づき報告があった。

なお、永田学長から、モニタリングが延長されることは不名誉であること、また運営費交付金等の削減にもつながりうるので、本学一丸となって対応する必要がある旨発言があった。

加藤（和）副学長から、審議 6 の開票結果について報告があった。

以 上